

橋場こどもクラブについての陳情

保護者はこどもクラブに対し「安全に遊べる場」だけを望んでいるわけではなく、子供が健全に過ごせる、こどもの生活が保障されている場を確保したいと考えています。【子どもが心から安心して過ごせる場所。家庭でのこと・友達とのこと・自分の全てを受け入れてくれる指導員がいてくれること】を切に望みます。

石浜小学校放課後子供教室（以下、放課後子供教室）の運営は開始から1年経過しておらず、改善点が多くみられます。台東区が実施した来年度のこどもクラブ選択に関するアンケートも、放課後子供教室の運営から数ヶ月後の夏休み前に実施されたものであり、その時点でのアンケート結果は保護者の真意を反映していません。今までのアンケート結果で保護者からの評価が最も高く、子供たちを保育するスキルに秀でた橋場こどもクラブを廃止するのは性急な決定であり、別紙の理由から不安を抱き、陳情するに至りました。

【陳情の趣旨】

1. 橋場こどもクラブの運営を継続もしくは延長してください。
2. 石浜小学校放課後子供教室の指導指針・保育内容を改善し、子どもに寄り添う橋場こどもクラブと同等の保育を受けられるようにしてください。
3. 区内の全てのこどもクラブ（学童保育）に、より専門知識をもつ正規の指導員を配置してください。

(別紙)

【理由】

①おやつ（補食・水分補給）

橋場こどもクラブでは簡単なおやつだけではなく、手作りおやつを作ることで、より家庭に近い環境にしてくださっています。放課後子供教室では、登録の違いでおやつを食べる児童と食べない児童が混在している状態です。パーティションで仕切られただけの場所で、落ち着いて食べることができるのでしょうか。

②長期休業（夏休み・冬休みなど）

学校の長期休業期間は最長で1日11時間クラブで生活することになります。橋場こどもクラブでは、お楽しみ会など多くの行事があり、長期休業に対応した取り組みをしてくれています。宿題も児童1人1人に合わせた指導により、一日預けなければならない長期休業でも保護者は安心して預けることができます。また夏期休業時は、子供の体調管理の為に午睡の時間を設けており、特に低学年の児童の体調管理に配慮頂いています。

③体調面・精神面（子供の日々の変化）

日々親身に一人一人の様子を観察して頂き、【熱が出そうな気がします・今日はなんとなく沈んでいます・いつもと様子が違います】など、毎日見ているからこそ気づくこと、親ですら知らないことを教えて頂くことがあります。このように心配してくれる大人がいることで、子供自身さらには保護者も心の底から橋場こどもクラブに対し信頼感が生まれ、安心感を抱く事ができます。

④小集団（班活動・行事・仲間など）

子供が明日も行きたいと思える、最大の理由は友達です。自分から打ち解けられない子には、子供をよく知る専門の指導員の働きかけが絶対に必要です。特に橋場こどもクラブの先生方はその能力に秀でており、子供達は先生がいるからクラブが楽しい、クラブに行こうという全幅の信頼を寄せています。橋場こどもクラブは、家庭で面倒を見られない分、第二の家庭として子供たちに生活の場を与えてあげたい、そんな雰囲気や安らぎがあります。

⑤防犯（子供達の安全）

橋場こどもクラブはモニタ付インターホンとオートロックによるセキュリティにより守られています。学校は人の出入りが多く、放課後子供教室と出入口が一緒であり、トイレも教室から出る必要があります、安全確保が不十分です。

施設の構造や設備の問題もあり、異なる点があることは重々承知しておりますが、放課後子供教室は、まだ全児童を受け入れる体制ではなく、橋場こどもクラブを閉鎖することは時期尚早ではないでしょうか。また玉姫こどもクラブは、その立地地域の治安問題により、子どもを一人で帰宅させることは難しく、選択肢にすることが厳しい状況です。

子供たちを保育するスキルは経験による部分が大きく、何ら問題がなく、むしろ保護者からの信頼の厚い橋場こどもクラブを廃止にするのは、放課後子供教室において見直す点が多い中であまりにも性急で乱暴な決定であると考えざるを得ません。

橋場こどもクラブの廃止見直し等、今一度ご検討頂けます様お願いいたします。

平成28年11月14日

台東区議会議長

太田雅久 殿